開講科目の紹介

◎ここでは、法学部に入学したみなさんが、最初に勉強することになる「全コース共通科目」を中心に紹介します。

法律学入門

「法律学を学ぶのに必要な知識」を身につける科目です。講義は、六法全書の引き方や条文の読み方、文献の探し方など「初歩の初歩」から始まります。

憲法Ⅰ

「日本国憲法」の成り立ちや、そこに定められた基本的人権の全体像について講義し、憲法に対するみなさんの理解を深めるための科目です。

民法Ⅰ

民法Ⅰは、まず「総則編」において、権利の主体・客体・法律行為などについて解説し、つづく「物権編」で、おもに権利変動の問題を、わかりやすく講義します。

民法Ⅲ

民法Ⅲは「債権各論」です。講義では「契約」に関する基礎的な知識を習得するため、できるだけ具体的な例を挙げながら、丁寧に説明してゆきます。

刑法Ⅰ

刑法の総論部分をとりあげ、卒業後に社会人として必要となる、最低限の知識を教授します。目標は「刑法の観点から社会を観察する能力の養成」です。

政治外交史Ⅰ

明治維新以降の日本の歴史を振り返ります。「歴史を学ぶのに必要なのは『記憶力』ではなく『想像力』」をモットーに、新たな近代日本像を切り開きます。

行政法Ⅰ

環境開発や社会保障行政など、さまざまな行政領域に共通する法原則を紹介し、行政に関する法体系を、大づかみに理解することをめざす科目です。

民法Ⅱ

取り扱うのは「債権総論」と「担保物権」です。まず、債権の全体像を把握し、ついで債権の担保方法である担保物権について、わかりやすく解説します。

商法Ⅱ

商法Ⅱは、2006年から施行された「会社法」を取り扱います。企業組織と企業活動のルールを定める会社法は、現代の企業社会を映し出す鏡です。この法律を通じて、現代企業の実態について学んでゆきます。

労働法Ⅰ

この科目は、労働基準法を中心に講義します。、サービス残業や不当解雇、パートや派遣労働の問題などを通じて、労働者としての権利と義務を理解し、あわせて「自らの身を守る方法」を学習します。

政治学

「わかりにくい」と批判される日本の政治。でも、政治学を学ぶことで、いろいろなことが「わかる」ようになります。講義では、現代政治に関する基礎理論を教授します。

国際政治

国家とは何か。戦争とは何か。どうすれば世界の人々が、なかよく暮らしていけるのか。講義は、基礎的な知識の解説からはじまり、日々の国際情勢の分析にまで及びます。

基礎演習Ⅰ

基礎演習Ⅰは、法学部ではじまる新しい生活を助けるための、少人数制のゼミナールです。法学や政治学ばかりでなく、英語や体育の先生も、それぞれの専門を活かしたさまざまなゼミを開きます。新入生は全員が、いずれかのゼミに所属することになります。

ITスキルズ（共通教育科目）

パソコンは得意ですか？この科目は、これまで苦手だった人でも判るよう、パソコンを基礎からじっくりと教えます。また、個人情報の守り方など、ネット社会を生きるのに必要不可欠な知識についても、しっかりと学んでゆきます。